

2019年版Office 365への移行に関する調査

TechValidateとゼットスケーラーによる調査結果

TechValidateは、ゼットスケーラーの依頼により、Office 365を導入した、米国と欧州の250の組織を対象に調査を実施しました。その結果、多くの組織にとって、Office 365を導入する最適な方法を見つけるのは困難であり、ネットワークの輻輳やユーザの不満などの課題が生じる中、Office 365の最大限の活用を可能にするために、インフラストラクチャの改善に取り組んでいることがわかりました。

この調査の主な調査結果は以下のとおりです。

企業がOffice 365を採用する主な理由

誰もが利用するアプリケーションスイートであることを考えれば、移行を検討すべき理由となるビジネスケースはたくさんありますが、最も一般的な理由としては、次のようなものがあります。

- 60% 複雑なIT環境の改善
- 52% アプリケーション信頼性の向上
- 50% コスト削減
- 35% コラボレーションの促進

Office 365の導入を遅らせた最大の理由は何ですか？

- 37% ゲートウェイアプライアンスのアップグレード
- 26% 過度のネットワークレイテンシ
- 24% ブランチオフィスに新しいアプライアンスを導入するコスト
- 8% アプリケーションパフォーマンスの低下

アップグレードを要するため導入が遅れている

回答者の約40%が、ゲートウェイアプライアンスのアップグレードがOffice 365の導入を遅らせる最大の理由であると回答しました。Office 365の常時接続がアプライアンスの処理能力を圧迫し、多くの場合に、予想以上のアップグレードが必要になります。

アップグレードをしても輻輳によってユーザエクスペリエンスが低下する

40%以上が、ネットワークの輻輳がOffice 365のユーザエクスペリエンスに影響する主要因だと回答しました。このトラフィックがMicrosoftクラウドに高速で届くようにすることが重要ですが、79%が回答していることからわかるように、レガシーネットワークではそれを実現するのは困難です。

ユーザエクスペリエンスに最も影響する要素は何ですか？

- 18% Office 365管理の変更が反映され、常に最新の状態で維持されるようにする
- 14% 過負荷状態のゲートウェイアプライアンス
- 41% ネットワークの輻輳
- 24% ネットワークMPLSバックホール

IT部門は、Office 365に関連するネットワークパフォーマンスの問題をどれ位の頻度で経験しているのか

- 25% 日々複数回
- 25% 毎日
- 22% 毎週
- 12% 毎月
- 13% 年に数回

IT組織も、予想以上に多くのネットワーク関連の問題に直面している

Office 365によってネットワークの使用率が大幅に上昇すると、Skype for Businessなどの低レイテンシが求められるアプリケーションで、アプリケーションのパフォーマンスが低下する、接続が切断されるといった火急の問題が発生します。回答者の半数が、問題が毎日発生していると回答しました。

企業はOffice 365に接続するよりも良い方法を探している

ほぼ半数が、Microsoftが推奨するアプローチである、インターネットへのダイレクト接続の使用と回答し、3分の1が、帯域幅コントロールを検討していると回答しました。いずれも、ユーザエクスペリエンス向上の鍵となる方法です。

組織はどのようにパフォーマンスを向上させようとしているか

支店からインターネットへのダイレクトルーティング	122
ネットワークインフラストラクチャのアップグレード	115
ブランチへの追加アプライアンスのインストール	96
Office 365トラフィックの帯域幅コントロール	71

世界最大のクラウド向けセキュリティプラットフォームであるゼットスケーラーという選択

ゼットスケーラーを活用することで、これらの問題を克服し、Office 365への移行を成功させることができます。導入も容易で、管理の簡素化、高速なユーザエクスペリエンス、ゲートウェイセキュリティアプライアンスのコスト削減を実現することが可能です。

詳細はレポートをご覧ください

[レポート全文を読む](#)